

# 海津木苑施設等啓発

資料.4

## 1. 海津木苑施設等啓発 【実績】

No.	月日	曜日	啓発内容	団体名	参加人数
1	6月30日	木	オンライン学習・見学	花見小学校4年生	111名
2	7月22日	金	新転任管理職教育関連施設見学会	古賀市教育委員会	11名

### 1. オンライン学習・見学（花見小学校4年生 6月30日（木）111名）

写真省略
------

### 1. オンライン学習・見学【学習前のイメージ】

・きたなそう。
・くさそう。
・行きたくない。
・どんなところか気になる。
・おしっこやうんこをすることがはずかしい。

### 1. オンライン学習・見学【学習後の考え】

・周りのためにいろいろ工夫がされていて、においを外に出してないところがすごい。
・実際に行ってみたい。
・働く方々の思いを知ることができた。
・し尿をあつかう施設なのに、すごくきれいなのがすごい。
・食品工場が周りにたくさんあって、公害を出したことがないのがすごい。
・市民のためにがんばっているすごい施設。
・最初のイメージが無くなった（変わった）。
・人と生き物（バクテリア）が協力していると思った。
・おしっこやうんこをすることは健康な証拠。
・気持ち悪がっている人たちがいたら優しく教えてあげたい。
・自分たちの生活になくってはならない大切な施設。

### 1. オンライン学習・見学【これから自分に生かしたいこと】

・いろいろなことを思い込まないように努力する。
・決めつけで考えていることがあったから、自分で調べたことを大事にする。
・トイレをきれいに使ったり、トイレのことで困っている友達がいたらかばってあげたい。
・トイレをみんなできれいにしていく！
・これからもトイレを我慢せずに清潔に保とうと思った。
・働いている人への感謝の気持ちをもつ。

## 2. 新転任管理職教育関連施設見学会（新転任管理職 7月22日（金）11名）

写真省略

### 2. 施設研修（新転任管理職教育関連施設見学会） 《ご意見・ご感想》

○ご講話の中にあつた「生きていく上で必要」「命を守る施設」という言葉には、はっとさせられました。また、「人権を守ること」「子どもたちに不利益にならないようにする」など多くの配慮と意思のつまった施設であることに、考えをさらに深めなければと思いました。また、「トイレにいったことがあるのか」のグラフで、小学年がどの学年においても2011年→2019年でマイナス回答が増加していることに、もっと学校として取り組んでいかなければと感じました。

○以前子どもたちを引率して見学させてもらった際、子ども達から「全然臭くない」「（食品祭りのトイレとして使っていて）え？ここやったん全然気づかんやった」「（収集車の形状を見て）」私達のために働いてくれよるのに、分らんようにせないかんておかしくない？臭いって言う人の方がおかしい」等、驚きの声がたくさん聞かれたのをよく覚えています。学校でもこういった子ども達の感性をみがけるようにしていきたいと思います。

○小4のし尿処理学習の視点と、教師が持つ人権同和教育の視点、それをどう絡めて授業をつくっていくか・・・しっかりと考えていかないといけないと感じた。し尿処理学習で何を子ども達に学ばせるか、古賀市内の小中学校、特に中学校区においては、確認しながら進めて行く必要があると感じた。施設については、やはり「本物」を体験する意義から考えると、来年12月の完成を機に子ども達が実際に見て学ぶ機会がつかれることを切に願っています。

○臭気公害と部落差別という2重の差別をうけてきたことや、本当は大切な必要な施設なのに迷惑施設として捉えられたこと、これは職業差別でもあるということがとても心に響きました。また、自他共に認め合う、当事者の気持ちによりそう大切さを教えるためにも排育は大切だと感じました。

○本日の研修を受け改めて歴史、本地に建設された意図、意味、行政と住民とで二つの施設を価値深いものにしていこうとする熱意やしっかりとした取り組み方がわかりました。ぜひ、学校に持ち帰り職員に伝えたいと思います。また、今年度学人研でし尿処理部会に入っていますので、研修等でもお話いただきたいと思いました。子どもたちへも排育を進めていきたいです。いのちのノートの見直しも行いながら進めていきたいと思います。

○海津木苑建設に至るまでの経緯等が大変よく理解できました。また、科学的な設備で40年間の役目を終わること素晴らしいと思いました。古賀市において人権同和教育を長年進めています。差別・偏見（マイナスイメージ）について、教職員の人権感覚を磨くことは、今後も持続的な課題です。若い教職員の増加、人事異動による新転任者に対応した研修に取り組んでいく必要があります。本日教えて頂いた内容は子どもたちへ指導する教職員につなげていきたいと思っています。可能な限り、ここ現地にて教材研究等にもお力添え頂けると幸いです。

○海津木苑の歴史について、とても分かりやすくさらに理解が進んだ。撤去・受入について当時の方々の苦労や思いを簡単に語ることはできないが、「差別をなくしていく」ということをしっかり受け継いで推進していかなければならないと思う。学校のトイレで安心して排泄できるよう「排育」にも取り組んでいきたい。施設についても徹底した管理の元に稼働されていることがよくわかりました。

◆ 【とても良く理解できた：11名】